

2026年7月2日

災害時の毛布・衣類調達や地域の安全安心を支援 青山商事として福岡県内初、田川市との防災に関する連携協定を締結

田川市役所にて7月10日に締結式を開催

青山商事株式会社（本社：広島県福山市／代表取締役社長：遠藤 泰三）は、福岡県田川市と「防災に関する連携協定」を締結し、7月10日（金）に田川市役所にて締結式を開催します。またこれに際して、店頭で回収したスーツなどの一部を利用した災害支援用リサイクル毛布（防災毛布）100枚を寄贈いたします。なお、防災毛布寄贈を起点とした自治体との連携協定の締結は8例目、福岡県内では初めての取り組みとなります。



田川市は、平成24年7月九州北部豪雨（2012年）や平成30年7月豪雨（2018年）などで甚大な被害を受けました。当社は、今後の災害発生時に備えて2024年・2025年にそれぞれ防災毛布を100枚ずつ（計200枚）寄贈しお役立ていただいています。この度は、更なる防災・災害支援活動を通じて田川市の防災力向上に寄与することを目的として連携協定を結ぶことになりました。

■協定における連携項目

1. 災害時における救援物資（防災毛布、衣類など）の提供および調達支援に関すること
2. 地域の安全・安心を確保する拠点の活用に関すること
3. 市民への防災意識の向上および啓発活動に関すること
4. SDGs（持続可能な開発目標）の普及啓発および資源循環の推進に関すること
5. その他、本協定の目的に資するものとして両者協議の上合意した事項

締結式 概要

日時：2026年7月10日（金）13:00～
場所：田川市役所 4階 庁議室（福岡県田川市中央町1番1号）
出席者：福岡県田川市 田川市長職務代理者 田川市副市長 安藤 正之 様
青山商事株式会社 執行役員 ESG推進・コーポレート本部長兼総務部長 長谷部 道丈 様
洋服の青山 田川店 ショップマネジャー 廣中 陸 様
寄贈品：災害支援用リサイクル毛布（防災毛布）100枚／1枚あたりのサイズ 200cm×140cm

当社では、2018年よりお客様から回収したスーツなどの一部をリサイクルし、防災毛布を製作しています。2019年からは、その防災毛布を自治体へ寄贈する取り組みを開始。これまでに国内計11カ所・総数3000枚を寄贈してきました。また、中期経営計画においてSDGsを重視したサステナビリティの取り組みを強化しており、田川市も持続可能性を重視した第6次田川市総合計画を推進しています。本協定により、防災・減災および資源循環に関する施策を連携して推進することで、災害に強い安全・安心な地域社会の構築と持続可能な社会の実現を目指していきます。



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

《本件に関するお問い合わせ先》

青山商事株式会社 東京オフィス 広報部 生田、岩永
〒110-0005 東京都台東区上野 4-5-10 青山上野ビル 7階
TEL:03 (5846) 5656 MAIL: pr@aoyama-syouji.co.jp

防災毛布（災害支援用リサイクル毛布）の寄贈と、その取組を起点とした協定

防災毛布は、店頭で回収したスーツ等の一部をリサイクルしています。当社では、お客様と協同するエコ活動の一環として、使用済みの衣料品を「洋服の青山」「スーツスクエア」などで回収しています。回収した衣類はリユース・リサイクルによって約99%再利用しており、2018年からは近年の全国的な自然災害の激甚化・頻発化を鑑みて防災毛布へのリサイクルも開始しました。全国47都道府県（離島含む）に営業店を展開する当社として、災害対策に取り組む地域住民の皆様にお役立ていただければと、2019年より自治体へ寄贈しています。また、その関係性から協定を結び、自治体と連携して地域課題の解決に寄与することを目指しています。

寄贈自治体	寄贈年	防災毛布の寄贈総枚数	備考
石川県輪島市	2019年3月／2020年3月／2021年3月／2022年3月	400	3月25日：輪島市民防災の日
新潟県佐渡市	2020年9月／2022年9月／2023年9月	300	9月1日：防災の日
鹿児島県奄美市	2020年10月／2022年10月／2023年10月	300	平成22年10月奄美豪雨災害
熊本県天草市	2021年7月／2022年7月／2023年7月	300	令和2年7月豪雨災害
鹿児島県龍郷町	2021年10月	100	平成23年9月奄美大島北部豪雨災害
長崎県島原市	2023年6月／2024年5月／2025年5月	300	平成3年6月3日 雲仙普賢岳大火砕流
佐賀県武雄市	2023年8月／2024年8月／2025年8月	300	令和元年8月 佐賀豪雨災害
宮崎県小林市	2023年9月／2024年9月／2025年9月	300	令和4年9月 台風14号による被害
大分県日田市	2024年7月／2025年7月／2026年6月	300	平成29年7月九州北部豪雨による被害
福岡県田川市	2024年7月／2025年7月	200	平成24年7月九州北部豪雨による被害
沖縄県名護市	2024年8月／2025年7月	200	令和5年台風6号による被害
合計		3000枚	

自治体名	締結年	協定
熊本県天草市	2023年7月	防災に関する連携協定
新潟県佐渡市	2023年9月	防災に関する連携協定
鹿児島県奄美市	2023年10月	包括連携に関する協定
長崎県島原市	2025年5月	防災に関する連携協定
佐賀県武雄市	2025年8月	防災に関する連携協定
宮崎県小林市	2025年9月	防災に関する連携協定
大分県日田市	2026年6月	防災に関する連携協定

◎その他に締結している連携協定について：[こちら](#)

回収した衣類から防災毛布へのリサイクル工程



- ・「洋服の青山」「スーツスクエア」などで回収された衣類の一部は、工場では裁断され、ガーネット反毛機で綿状に加工されます。その後、綿状になった原料とポリエステルを混ぜ合わせ、糸の元が作られます。
- ・専用機械で撚りをかけて糸に仕上げます。この糸を紡織機で織り上げて反物にし、高温洗浄にて汚れを溶解し殺菌します。
- ・洗浄した反物を起毛させ毛先をそろえます。反物の端にパイピング仕上げを施して毛布が完成します。
- ・出来上がった毛布は圧縮パック加工し、段ボールに梱包して当社の商品センターにて保管しています。

◎不要衣類の回収と資源循環：[こちら](#)

資源循環「WEAR SHiFT（ウェアシフト）」の取り組み

「WEAR SHiFT」は、当社が未来の地球を守るために展開する資源循環プロジェクトです。全国の店舗に設置されたリサイクリングBOX※で不要な衣類を回収し、リユースできる物は海外で古着として流通させるほか、スーツなどの新たな製品や自動車部材へとリサイクルしています。さらに、この取り組みは防災毛布の寄贈を通じた社会貢献や、一般社団法人 more trees(モア・トゥリーズ)への寄付による森林保全にもつながっています。

本プロジェクトは、環境省主催の「第12回グッドライフアワード」で、環境大臣賞（優秀賞）を受賞しました。

※リサイクリングBOXには、古着などの繊維廃棄物から作られた環境配慮型素材（廃繊維100%）を使用しています。



◎終わらない服を作る WEAR SHiFT とは？

洋服の青山 YouTube 公式チャンネル <https://youtu.be/yBbE45gxeOM>



衣類の回収量に応じて一般社団法人「more trees」に寄付

2021年度より、衣料品の回収量に応じて一般社団法人 more trees（森林保全団体）に1キロあたり2.5円を寄付する取り組み（年間上限100万円）を行ってきました。2024年度からは、1キロあたり10円（年間上限500万円）に寄付額を変更し、取り組んでいます。このほか、2022年12月には当社・more trees・高知県梶原町の3者による「森林保全に関する連携協定」を締結し、『AOYAMAの森』を始動しました。森林保全への継続的な支援を通じ、2025年10月には新たに植樹範囲を拡大。現在は高知県梶原町内の2ヵ所（仲洞地区、井高地区）にて、地域と連携した森づくりを展開しています。



＜衣料品回収量に応じた寄付の実績＞

2023年度：回収量 355,435kg／寄付額 888,588円
 2024年度：回収量 347,555kg／寄付額 3,475,550円
 2025年度：回収量 289,430kg／寄付額 2,894,300円

AOYAMAの森：[こちら](#)